



会員の皆様！に感謝とお願い

東京都障害者スポーツ指導員協議会 会長 前田康博

東京都障害者スポーツ指導員の皆様、あけましておめでとうございます。

日ごろのご活躍で多くの障害者(児)がたくさんのスポーツを楽しむことができたことに深く感謝申し上げます。

平成 25 年度は東京都でスポーツ祭東京 2013(第 68 回国民体育大会・第 13 回全国障害者スポーツ大会)が開催されます。この素晴らしい大会に協力できる我々は、東京都障害者指導員協議会の存在を高めるとともに指導員としての実力を十分に発揮して頂けることと期待しております。会員の皆様の活動がこのイベントで協力団体として認識して頂いたことが大変うれしく感じます。

東京都障害者スポーツ協会においては関連事業を始め、各市区町村の事業等に障害者スポーツの普及に関わっております。その一つで昨年は、スポーツ祭東京 2013 の水泳競技においてリハーサル大会を行いました。この団結力を本番で見せていただきたいと思います。

いよいよ本番が近づいてまいりました。ここに会員の皆様に感謝とお願いを申し上げます。



2013 年を迎えて

公益社団法人東京都障害者スポーツ協会 会長 中野英則

東京都障害者スポーツ指導員協議会の皆様、あけましておめでとうございます。

昨年は、ロンドンオリンピック・パラリンピックの選手の皆さんの熱い闘いに、感動と勇気と元気を頂いた年でした。パラリンピックでは、強豪国の競技力向上が目覚ましい中、堂々と競技する日本選手の活躍は素晴らしく、団体競技で日本初の金メダルを獲得したゴールボールの女子チームの笑顔は、大変印象に残りました。

さて、今年はスポーツイヤーの年『スポーツ祭東京 2013』が開催されます。9 月 28 日から 10 月 8 日まで第 68 回国民体育大会が開催され、10 月 12 日から 14 日まで第 13 回全国障害者スポーツ大会がオープン競技 17 競技を含め開催されます。全国障害者スポーツ大会へは、全国から選手・役員 5500 人が参加し、都内 12 の会場で 13 の正式種目の競技が行われます。

全国から参加する選手たちの競技する姿は、多くの都民にスポーツのもつ可能性と素晴らしさを伝えてくれることと期待しています。これらの大会の運営には、競技団体をはじめ多くの関係機関、学生及び一般のボランティアの方々そしてこれまで都大会をはじめ様々な大会において培ってきた技術と経験を持つ障害者スポーツ指導員の皆様の力がなければ開催することは困難です。この全国大会の開催は、東京都における障害者スポーツをさらに推進するものと思います。私ども協会も主催者の一人として組織の総力を挙げて大会の成功へ向け協力する所存でございますのでよろしくお願いいたします。

おわりに障害者スポーツ振興のために、協会としましては長年スポーツセンターの運営で培ったスポーツ支援技術や教室などの企画運営能力を地域のスポーツ振興主管課等と連携・協力しながら提供し、地域の障害者スポーツの推進に一層努めてまいります。

また、障害者スポーツの地域での推進には、障害者スポーツ指導員協議会の皆様の役割が重要であります。今後とも東京都における障害者スポーツの普及・振興のため、東京都障害者スポーツ指導員協議会の皆様の支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

スポーツ祭東京 2013 とは…

平成 25 年に東京都で、「第 68 回国民体育大会」と「第 13 回全国障害者スポーツ大会」を一つの祭典として開催するスポーツの大会です。東京都における国民体育大会(国体)の開催は、冬季大会が平成 17 年の第 60 回大会以来、8 年ぶり 2 回目、本大会が昭和 34 年の第 14 回大会以来、54 年ぶり 3 回目、全国障害者スポーツ大会は初めての開催となります。多摩、島しょ地域を中心に都内全域で開催します。

全国障害者スポーツ大会とは…

都道府県持ち回りで行われる国体の開催県で行われる障害者スポーツの全国的な祭典です。障害のある選手が、競技等を通じてスポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障害に対する理解を深め、障害者の社会参加の推進に寄与することを目的としています。

大会は、3 日間の会期で開催され、競技規則に定められた個人競技 6 競技、団体競技 7 競技の 13 競技及びオープン競技が実施されます。

会 期：平成 25 年 10 月 12 日(土)～14 日(月)

実施競技：正式競技 13 競技 オープン競技 17 競技

参加者数：約 5,500(選手、役員)

活 動 報 告

第 12 回 全国障害者スポーツ大会 視察報告

東京での第 13 回全国障害者スポーツ大会を 1 年後に控えての、昨年 10 月 13 日（土）～15 日（月）第 12 回大会ぎふ清流大会を視察してきました。

13 日早朝 4 時 56 分の始発電車で自宅を離れ、東京駅で駅弁と共に一番の新幹線に乗り、どうにか岐阜メモリアルセンターの開会式に間に合いました。真夏を思わせるような強い日差しの中、暑さで体調を崩す選手も出たようですが、とっても華やかな・そして優しさの漂う開会式でした。どこの選手団にも分け隔てのない盛大な拍手、郡上踊りや特別支援学校の生徒たちによる太鼓・バトン・エアロビック等々のおもてなしの歓迎演技。岐阜の皆さんの温かい気持ちが伝わる、素晴らしい開会式でした。私も何度か入場行進をしたことがありますが、スタンドで参加する開会式も違う感動があり、なかなか良いものでした。



さてこの視察の一番の目的は、陸上のスラロームと視覚障害者の 50 走（音源走）でした。この二つの競技は東京の大会において、私たち東京都障害者スポーツ指導員協議会が中心となって行われることになっており、その運営方法を学んできました。この大会でのスラロームは、ゴールまで二人の審判が選手をはさんで進む方式でした。そのため、通過旗門と周回旗門の時では大きく立ち位置を変えるため（とても機敏な動きだったのですが）、選手や旗門との接触が心配されました。従来の東京での方法をふまえた上で、最善のカタチを探っていかなければならないと思いました。音源走は、近年東京の大会において選手に迷惑をかけてしまったことが何度かあり、二度と繰り返してはいけないという強い気持ちで注視してきました。

この大会は 17 人のスタッフが、スタート係・ゴール係・音源係・併走係に分かれて、ローテーションを組んで行われていました。

スタート係は視覚障害の選手にスタート位置を知らせるために、角材のような棒をスタートライン上に置くのですが、その棒を抜くタイミングが少し遅いように感じました。「位置について」→「ヨーイ」→「ドン」の流れの中で、「ヨーイ」と同時に抜いていたので、もしフライングがあった場合棒につまずき転倒しかねないと思いました。ゴール係は、選手にゴールラインを越えたことを知らせ安全に止めるのですが、ゴールラインより 30m 位後ろで待機していたため、選手がいつゴールしたかが分からず、止まる動作も遅れてしまっていました。ゴールと同時にそれを知らせ、スピードを落として停止する流れを作ることが必要であると感じました。

音源係は、ゴール後方より拡声器で音を出し選手にゴール方向を知らせる係で、ゴール係同様ゴールラインより 30m 位後ろで音を鳴らしていました。そしてそれと同時に、選手が左右にコースアウトしないように「右・右・右」・「左・左・左」という指示も拡声器で行っていました。東京ではコースの左右に並んでいるスタッフが声掛けをしていましたので、新しい発見でした。選手にもよく聞こえていたようでした。音を鳴らす係と、「右」「左」の声掛けをする係を別にする方法もあるのではと思いました。

一番注目したのが併走係です。選手が左右にコースアウトしないように、ゴールまで誘導する係です。スタートからゴールまで左右に 3 人ずつ配置し、各々が受け持った区間を選手と併走しながら誘導していました。選手は 8 レーン幅のコースを一人ずつ走るのですが、コースを外れそうになった選手が二人出ました。一人は声掛けと軽いタッチでゴールすることができましたが、もう一人の男性はスピードを上げながら右方向にずれてしまい、併走係がやっと肩からタックルをする感じでコースアウトを防ぎました。選手も併走係も共に転んでしまいましたが、選手は一人で起き上がりなんとかゴールをかけぬけました。併走係が選手を止めていなかったら、激突事故につながっていたと思います。選手転倒後も、まわりのスタッフが立ち上がるのを手伝うなどの助力を加えることなく、声で的確に誘導していました。手を貸していたら失格になっていたはずであり、とっさの最善の判断であったと思います。

以上、今回の大会で学んだことをしっかりと精査して、今年のスポーツ祭東京では選手が最高のパフォーマンスを発揮できるように、万全の準備を進めていかなければならないと、強く感じさせられた視察でした。（神保秀久）

東京マラソン 2013 のボランティア報告

2 月 24 日に行われた東京マラソン 2013 の選手受付のボランティアで東京ビックサイトに参加してきました。ご存知のように東京の名所を舞台に 3 万 6 千人が駆け向ける大人気のマラソンイベントです。前日までに走る準備としての手続きが必要となり 3 日前から受付が始まります。

私たち指導員はスポーツ協会の障害者の部を担当しました。会場はすっかり準備され受け入れ準備は万全…かなあ？まず本人確認からスタート、ゼッケンを受け取り計測チップの作動チェックを受けて終了です。三々五々と集まってくる選手と伴走者の方、みなさん頼もしくいい顔をしていました。健闘を祈る!!と心の中でつぶやいたのでした。



ただそんな中でちょっと気になることが 2 件ほどありました。障害がある選手の受付場所が広い会場の端でしかも配線コードが真ん中でボコボコして危険!極まりない状態でした。抗議の結果翌朝には若干改善されて事なきを得ました。また心無い一般ボランティアの障害者に対する心無い言葉遣いに激怒し配置換えをしていただきました。まだまだ世間では障害のある方に対する接し方や理解のなさなど認識の低さには嘆かわしい限りです。啓蒙活動が必要だと感じました。全体として選手とのふれあいや会場で行われていたさまざまなイベントに参加したりと楽しい 3 日間でした。（岡むつみ）

理 事 会 報 告

平成 24 年度 第 3 回理事会 H24. 9. 4 都スポーツ協会会議室

《報告事項》

1. 岡副会長より

- ・会長が、ロンドン・パラに行っているのので代わりに挨拶。
- ・秋・今年も後半に入りましたので、それぞれの分野での活躍を期待しております。

2. 都スポーツ協会より

- ・スポーツの集いを 旧来、育成会での主幹事業を東京都スポーツ協会と東京都との共催事業を明日行います。(東京体育館が改修工事なので駒沢で行う事になった)
- ・全国障害者スポーツ大会の準備も粛々と進んでいる。
- ・都の障スポ大会準備は、各スポーツ協会が主幹団体として運営する。
(指導員協議会は、各主幹団体の依頼を受けてから動く事になる。)
- ・リハーサル大会、水泳競技が早いと言うのは 12 月に辰巳のプールが改修に入るため

3. 関東ブロックより

- ・11 月 24～25 日に研修会が有るが内容は分からない。(埼玉に状況を確認)
- ・活動報告は東京に依頼が来ている。(神保さんに荒川での活動を依頼)

4. その他

- ・日障スポーツ教会研修部・オリンピックセンターステップアップ研修に東京の理事の参加が無い
王子 S C : 9 月 29 日、なるほどなっとく講習会・脳血管セミナー並行して行う。(指導員協議会に協力要請 5 名)
多摩 S C : 7 月 29 日 フォローアップは、多数の参加者が有リスポーツ推進員・その他の方の関心が多くなってきたと思う。
次回 10 月 20 日 (土)「障害のある方に学ぼう」障害が有り、指導員でも活動している 3 人の方に話を伺います。

5. その他

ユニホームのシンボルマークが完成 (島さんデザイン)

理事全員が理事会メーリングリストに加盟していないことが議論に上がった。

納涼祭のたこ焼き出店、赤を出さずに済んで良かった。(本年度の年間行事に載せなかったのがミスだった。)

センター事業には協力者が多いのに指導員協議会の事業には少ないので今後検討をしていく必要性を感じた。(来年度は年間行事に載せ多数集めてやる方向に持って行きたい)

《協議事項》

1. 各部会の事業報告及び予定

- (1) 総務部会…報告なし
- (2) 研修部会…アーチェリー研修会コンパウンド・11 月 10 日 9 時～12 時 王子 S C
- (3) 広報部会…お願いした原稿は今月 7 日までに、今月 12 日発送ご協力。

2. スポーツ祭東京 2013 (東京国体 全スポ大会) の準備進捗状況等

- (1) 陸上競技・ふれあい広場：スラローム審判・音源走・車いす検査を担当、岐阜国体には視察委員に植田・松浦・神保を派遣できればふれあい広場で指導員協議会の P R をしたい。
- (2) 水泳リハーサル大会…都水協主導のもとで働く事になった。(都水協の競技役員資格を保持しなおかつ障害者スポーツ指導員資格を持っている方・全スポに関しては一般の障害者スポーツ指導員は協力したくとも出来ない。)
- (3) 各区市町村情報：オープン競技でユニカールを杉並区がやる事の決まり、杉並地域大学でユニカールスポーツ講習会を開く予定 (障害者スポーツ指導員協議会に委員長から依頼書が来る・佐野)

3. 原稿締切 9 月 7 日 (3) 発送日 9 月 12 日

4. 次回の理事会 11 月 6 日 (火) 19:00～20:30 協会

平成 24 年度 第 4 回理事会 H24. 11. 6 都スポーツ協会会議室

《報告事項》

1. 岡副会長より

- ・都スポーツ協会の推薦により東京都からスポーツ功労賞を受賞、11/4 に前田会長が授賞式に出席。今後はこのような式典に若手の理事が同席することが必要。

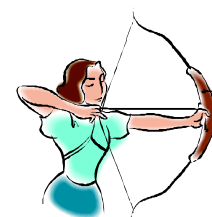
2. 都スポーツ協会より

柳橋理事—共催事業として、10/20 (土) 多摩 S C フォローアップ講習会を実施、27 名の受講者。

次回の共催は 3/10 (日) 実施のリーダー向けの講習会となる。

横田理事—共催事業として、9/29 (土) 総合 S C でのフォローアップ講習会を実施、岡理事より「久しぶりに講習会をお手伝いし、両 S C で活躍する会員の方々の様子がわかり、非常に有意義であった。」との補足があった。

3. 関東ブロックより



・11月24,25日に埼玉交流センターで実施される関東ブロック研修会への本協議会からの参加について。

《協議事項》

1. 各部会の事業報告及び予定

- (1) 総務部会…三浦理事 部会開催なし。必要に応じて今後の開催を決めていきたい
- (2) 研修部会…神保理事 10月7日(水)に部会開催。
 - ①アーチェリー研修会の準備状況…井上理事より
参加者15名予定、保険も申込済。総合SCにて当日リカーブ10台を借用申込済。
 - ②3月10日(日)フォローアップ講習会および4月20日(土)総会時研修…神保理事より
 - ③11/21に研修部会を実施し、3月の内容について絞り込み、実施準備を進めていく。
- (3) 広報部会…秋山理事 部会開催なし。次号のたより発行に向けての準備をしていく。
- (4) 会 計…佐野(里)理事 今年度の会費収入があり、都協会への団体会員費の納入も完了。

2. 11月24,25日 関東ブロック研修会 埼玉交流センター

- (1) 幹事会 11月24日(土) 10:00~12:00 神保理事が出席。
- (2) 研修会への出席：可能な限り理事も参加するとともに、他の指導員への参加を案内していく。
- (3) 研修会での活動報告

3. 卓球バレー指導者講習会の実施

12月16日(日)大分県の堀川さんより依頼があった。→今回の依頼の経緯を確認のうえ、お断りの返答をする。

4. スポーツ祭東京2013(東京国体 全スポ大会)の準備進捗状況等

- (1) 岐阜国体(陸上競技・ふれあい広場)の視察報告…神保理事より
陸上競技の音源走・スラローム競技を中心に、植田副会長・神保理事・松浦理事・大森理事で視察。
- (2) 水泳リハーサル大会準備状況…岡理事
11月18日(日)に辰巳にて実施。
- (3) 各区市町村情報：オープン競技として、杉並区でユニカール、荒川区でキンボール、北区で少年少女サッカーが開催される。
ゴールボールは多摩SCでの開催予定だったが、青梅市でおこなう。

5. 次号のたより発行予定

- (1) 内 容
総会のお知らせを中心に、前号に引き続き本の紹介などを連載していきたい。

6. 次回の理事会 1月8日(火) 19:00~ 協会にて実施

平成24年度 第5回理事会 H25.1.8 都スポーツ協会会議室

《報告事項》

1. 岡副会長より

政局も変わり、良い年になればと思う。今年は全スポだけでなく、オリンピック・パラリンピック開催地決定もある。我々も与えられた使命を全うしていきたい。

2. 都スポーツ協会より

横田理事→2月に総合SCにて初級。60名定員のところ約90名申込あり。スポーツ推進委員の申込みが増えている。

柳橋理事→平成25年度の両SC事業を調整中。今後講習会等の共催についても調整していきたい。

3. 関東ブロックより

- (1) 関東ブロック研修会報告…三浦理事
両SCとの事業連携などについて発表した。内容としてはパラ選手(ボッチャ・ゴールボール)との交流、WCラグビー体験など。
- (2) 関東ブロック幹事会報告…神保理事
埼玉が事務局になり初年度。JSADの記事依頼に苦勞しているとのこと、記事執筆を持ち回りにする依頼あり。全国研修会については、平成25年は富山、平成26年11月に福島(会津)、平成27年は関東での予定となっている。

4. その他

- (1) 日障協研修部報告…松浦理事
 - ・第9回の全国研修会は、北信越ブロック担当にて11月または12月に富山にて実施。
 - ・2月10日(日)実施の第8回障害者スポーツ指導者全国研修会は、現在168名の申込みがあり、最終的に200名前後になることが見込まれる。第9回の詳細は、2月9日(土)の研修部会にて決定する。
- (2) スポーツ祭東京2013(東京国体 全スポ大会)の準備進捗状況等
競技ごと、競技団体を中心に準備が進んでいる。開催期間中のボランティア等についてはメ切られているが、今後会員が活動・協力できる機会があれば情報提供していく。

《協議事項》

1. 各部会の事業報告及び予定

- (1) 総務部会…三浦理事 部会開催なし。

- (2) 研修部会…神保理事 11月21日(水)部会開催、6名出席。
 ・3月10日(日)両SC共催講習会午前はポッチャ、午後は参加者の活動時の悩みなどを収集し、グループワーク形式でおこなう。
 ・総会時研修…分科会形式にするかを検討中。2月26日(火)に部会開催し決定するが、各理事からもアイデアをいただきたい。
 ⇒虐待問題、パラリンピック・全スポ関係などの意見あり。開催当日時も各理事に担当など割り振っていきたいと考えている。
- (3) 広報部会…秋山理事 部会開催なし。
- (4) 会 計 …佐野(里)理事→平成25年度の部会ごとの必要予算について検討しておいてほしい。

2. 総会準備

- (1) 日時：平成25年4月20日(土)
 (2) 会場：多摩SC 第一集会室・体育館
 (3) 時程：①研修会 13:00～14:30
 ②総 会 15:00～16:30
 ③懇親会 16:30～18:30
 (4) 資料作成…部会ごとに作成し、次号たよりに間に合うように3/5(火)の理事会で内容確認する。
 (5) 開催案内・資料の送付



3. 卓球バレー指導者講習会の実施依頼 ※次年度の開催依頼あり(事務局にメール送付済)

現状の進捗状況を再度確認し、研修部にて検討、開催の可否についても一任する。

4. 次号のたより発行予定

- (1) 内 容・総会案内等 (2) 原稿締切：2月23日(土) (3) 発送作業：3月13日(水) 予定

5. 次回の理事会 3月5日(火) 19:00～20:30 協会

6. その他

- ・3月4日(月)、5日(火)に総合SCで開催するふうせんバレーの講座に後援依頼あり。承認とする。
- ・活動会員のシステムについて…所有資格・特技等を活かした活動の案内ができるよう、現指導員の情報を把握したい。
- ・スポーツ祭東京のオープン競技として杉並区でユニカールを実施。杉並地域大学にて植田・三浦両理事が講師を担当する。
- ・HPに掲載している資料が古くなってきているので見直しを図りたい。
- ・次年度事業の協力依頼について…確認として返信している。協力の決定については主催者より連絡がある旨を伝える。

指導員のための 講座

オリンピック・パラリンピックについて学ぶ ～オリンピックとは何か～

皆さんオリンピックのシンボルマークって知ってますか？もちろん知ってますよね！5つの輪を組み合わせたマークです。では実際にそのマークが描けますか？マーク自体は知っていても描けないという人は意外と多くいると思います。

シンボルマークに込められた意味を知ってますか？5つの輪は五大大陸を表しています。五大大陸の連帯と世界の国々の選手が集い友好的に競技することを表したものです。輪に用いられている5色と下地の白色を加えた6色を組み合わせると世界の国旗のほとんどを描くことができます。

オリンピックとはどんな大会なのでしょう？スポーツを通じた教育と平和運動が推進される場、オリンピックはスポーツ界の宝なのです。オリンピックの創始者であるピエール・ド・クーベルタンはスポーツが、芸術などの他の文化や教育と同様に優れた人間を育てるのに役立ち、スポーツをとおして人々の心と身体を鍛え平和な世界を築いていこうと考えたのです。この思想は「オリンピズム」と呼ばれ現在もオリンピックの根幹をなしています。

オリンピックを理解する、オリンピック教育を考えたことありますか？1964年東京大会の招致を決定づけたのは、オリンピック教育です。当時国語の教科書に「五輪の旗」という話が掲載されていました。その後も「オリンピック国民運動」が展開されました。また小中学校に「オリンピック読本」が配布されています。1972年札幌冬季大会では「オリンピック学習の手引き」などのオリンピックに関する本や資料が配られました。1998年長野冬季大会でも「一校一国運動」というオリンピックに参加予定の国地域の振興を深めることを目的とした国際交流活動が行われたのは世界的に有名な活動です。こういった活動＝オリンピック教育は日本では特に子供やメディア関係者、もちろんオリンピックにも必要になってくると思います。諸外国では積極的に取り組んでいる国がいくつかあります。ドイツではオリンピック教育のシステムが整えられカナダも古くから教育プログラムを実施しています。その他にもイギリス、フィンランド、オーストラリア、ニュージーランド、マレーシア、シンガポールなどが積極的に行っています。

日本国民の関心度はどうでしょう？日本人はブームが去ると途端に興味を失ってしまうという国民性が関係していると考えられます。現在の教育現場ではたとえ素晴らしい学習教材があっても活用する時間的余裕がないことが問題です。そして4年に一度開かれる国際大会のひとつとしてしか捉えられないこと、メディアと視聴者の関心もメダルの色、数、メダリストの秘話、裏話しか興味がないことがあげられます。

オリンピックはとても意味深い大会で他の大会とは一線を画すものだと思います。本来目を向けるべきものは競技の結果やメダリストではなくオリンピックが持つ価値や意義ではないでしょうか？(秋山なるみ)

参考資料：スポーツゴジラ第21号 2013年2月26日発行



障害者スポーツに関するお勧めの書籍 三浦卓也

「大発見」の思考法 iPS 細胞 VS 素粒子

山中伸弥 益川敏英共著 文春文庫 2012 年 ¥872

この本は、ついこの間ノーベル賞を受賞した山中氏とずいぶん前に受賞した益川氏の対談です。二人とも「大発見」をした人、どのように考えると「大発見」ができるのか？興味がありますよね。もしかして私たちにもできるかも、と思ってしまいます。

本の内容から自分なりに共感できる内容を挙げてみましょう。まず最初は、お二人とも幼少期から苦手な科目があった！宿題とかをやらない子どもだったとのこと。とても親近感を感じます。次はお二人とも家業が自営業で、ほったらかしにされて育った境遇。これも同様です。そして三つ目は多くの「無駄」を繰り返してきたという点、最後は益川氏の話で、大学時代の研究室でのエピソード、学生と教授の垣根の無い関係でお互いは何でも言い合える「対等」な関係であったこと（実際には難しいことですが）。が印象に残っています。

さて私たち障害者スポーツ指導員協議会にとって今年は「国体」をはじめ多くのミッションを抱えている年！ノーベル賞受賞者のような「大発見」はできないかもしれませんが、改めて指導員一人ひとりが障害者スポーツの魅力を広げ、小さな「発見」ができるといいですね。

事務局からのお知らせ

東京都障害者スポーツ指導員協議会登録調査用紙の記入のお願い

各事業に皆様方のお力を発揮して頂くための資料とさせていただきますので、ご協力をお願いいたします。

FAX・郵送等で事務局までお送りください。なおホームページからでも送ることができます。

総会のお知らせ 委任状の提出は 4 月 17 日まで。

総会 日 時：平成 25 年 4 月 20 日（土） 15 時～16 時

場 所：東京都多摩障害者スポーツセンター

研修 日 時：平成 25 年 4 月 20 日（土） 13 時～15 時

場 所：東京都多摩障害者スポーツセンター 体育館

テーマ：分科会形式で行います。委任状のはがきに参加希望したいテーマに○をお願いいたします。

懇親会 平成 25 年 4 月 20 日（土） 総会終了後 会費 1000 円（予定）

転勤、卒業など引越しをされる方へ 住所変更はお済でしょうか？

<手続きの仕方は…> 以下のいずれかにご連絡をお願い致します。

①日本障害者スポーツ協会養成研修部へ。

TEL:03-5695-5420 FAX:03-5695-5630 E-mail: touroku127@jsad.or.jp

②東京都障害者スポーツ指導員協議会事務局へ

E-mail: info@tcsid.jp FAX:03-5206-5587

今年も活動協力をお願いいたします

2013 年活動協力依頼を同封しました。協力活動可能な行事に○をつけて事務局まで送ってください。

一覧表は両面になっています。FAX する方は気をつけてお願いします。

*郵送の場合…〒162-0823 新宿区神楽河岸 1-1 セントラルプラザ 12 階 指導員協議会事務局まで

*FAX の場合…03-5206-5587

うれしいお知らせ!!

3 月 6 日（水）ホテル日航東京において平成 24 年度日本障害者スポーツ協会功労者に当協議会より、水泳指導で活躍されている滝澤由紀子さんが受賞されました。ホントにおめでとうございます!!

編集後記

野球ファンの我が家では欠かさずWBCを見ています。初めはこのメンバーで大丈夫??と思いましたが、とんでもない!!日に日に強くなっていく侍ジャパンに頑張ること、踏ん張ること、あきらめないことを教えてもらってます。解説者のお話を聞いていてもスポーツに対する考えを再認識させられます。私も試合で生かしていきたいと思います。（N）

